

ほけんだより

いのちの学習 5年生号

春日井市立鳥居松小学校

H30.12.12号

「いのちの誕生 - いのちについて考えよう - 」

5年生は、野外学習に行く前に、男子は射精、女子は月経について学びました。また、理科では、3学期に受精から誕生までの過程を学んでいきます。これらの学習に合わせ、子どもたちは「いのち誕生」について考えました。



子どもたちは、母親の子宮の中で胎児が成長していく様子を知り、命の神秘性や大切さに気付くことができました。授業の感想の一部を紹介します。

人は、みんなに大事にされて生きていて、本当はだいにされない人はいないのかも、と思った。(Hさん)

お母さんが一生懸命産んでくれたので、感謝しています。赤ちゃんを産むのは大変だけど、大事に育ててくれてうれしいです。(Tさん)

今、わたしたちが生きているのは、ほんのちょっとした確率できせきなんだ。いろいろな人に感謝をしながら生きていきたい。次は自分たちが命をつなげていく人たちだから、不安もあるけれど、生まれてくる赤ちゃんのことを思って、その赤ちゃんにできることをしてあげたい。(Tさん)

赤ちゃんは最初はめちゃくちゃ小さくて、心臓が最初からあるわけでもなく、受精して4週間くらいに動き始めることがわかりました。とてもおもしろかったです。(Kさん)

命はとても大切なんだなと思いました。めっちゃ小さいのに、今みたいに大きくなれるのは、不思議だなと思いました。(Mさん)

自分は幸せ者なんだと感じました。産んでくれて、お母さんありがとう。(Mさん)

命はとても大切で、命が作られることがすごい。(Kさん)



お母さんががんばって産んでくれてこの世に生まれて自分は特別なそんざいだと思いました。(Mさん)

自分はこうして生きているので、お母さんお父さんに感謝しています。(Yさん)

とても低い確率で生まれてきたことに感謝したいです。(Sさん)

命が大切だとあらためて思いました。お母さんがわたしを産んでくれたこともとても感謝しています。(Oさん)

大切に生きるということを大事にしたいです。(Mさん)



へそのおを流れている血は、赤ちゃんの血ときいて、びっくりしました。(Sさん)

赤ちゃんが生まれてくる確率はそうとう低いことを知って、命の大切さを知りました(Mさん)

赤ちゃんが生まれるとき、お母さんだけが苦しいというのはちがいました。赤ちゃんも必死で酸素がなくても生まれようとしていることを知りました。(Kさん)

初めは、0.01gだったのに、10 か月がたつと、3000gにも成長していることが分かった。(Sさん)

命は時間がたつにつれてだんだん成長するんだと思いました。はじめてお母さんと協力するのは、生まれるときなんだと思いました(Sさん)

赤ちゃんが生まれてくるのに38週(266日)くらいかかるとは思いませんでした。4か月から6か月の間にすごく成長して、生まれるときには息をしていないのにがんばって生まれてきて、赤ちゃんは意外とすごいということがわかりました。(Sさん)

お母さんと赤ちゃんが共同して命が誕生するとわかりました。(Tさん)

赤ちゃんがこんなに努力しているなんて感動した。(Oさん)

赤ちゃんが生まれてすぐ泣くときの声は、息をはじめてはいたときの声だと初めて知りました。(Hさん)

私たちが生まれたのはとても運が良かったと思う(Iさん)

とても少ない確率で生まれてくると聞き、自分を大切にしようと思った。(Sさん)

よごれた羊水は自分で飲むと初めて知りました。わたしは、おなかを切って生まれたのでよくわからないけれど、お母さんと協力して生まれたんだなあと思いました。自分が今ここにいるのもお母さんのおかげなんだと知りました(Mさん)

命はとても尊いもので、すごく少ない可能性の中でたった一つ生まれてきたものだとことをきいたとき、すごくびっくりした。生まれてくる前は、今出来ないようなことをやってのけていたのがすごい。もしかしたら、今もがんばれば、いろいろなことができるかもしれない。(Iさん)

協力してがんばって生まれた。命(自分・友だち)を大切にしたいと思いました。家に帰ったら、お母さんに「ありがとう」を言いたいです。(Mさん)

お母さんとお父さんがいなかったらわたしはうまれてきていなかったことに気がつきました。これからは命をたいせつにしたいです。(Kさん)

自分が生まれるずっと前から親たちはがんばって育ててくれていると聞いて少し驚きました。10か月かけて成長するというのも初めて聞きました。(Mさん)



いのちのはじまり「受精卵」は、0.14mmです。受精して4週間経つと、血液を作り、心臓が動き始めます。その時の胎児(胎芽)の大きさは10mm。小さくても自分で生きようとする力をもっています。そして、38週間を母胎内で母親から栄養と酸素をもらい、すくすくと成長し、約50cm、3000gまで育ち生まれてきます。

今では、3倍近い身長と10倍くらいの体重にまで成長しています。その事実、子どもたちは感動し、親への感謝の気持ちを持ち、命の大切さについてしっかりと考えました。

5年生も、あと3か月すると最高学年になります。これからの3か月もさらに成長し、4月からは、下級生に思いやりの心をもって接する立派な6年生として活躍してくれそうです。期待しています。

